



九州電力株式会社 熊本支店
支店長 永原 聖也

人的資本経営の更なる強化に向けて

少子高齢化や人口減少が進む中、多様な人材の活躍は、企業が成長し続けていくための重要な要素です。また、取り巻く環境が変化する中で持続的に成長していくためには、従業員一人ひとりの力をこれまで以上に活かしていく必要があります。このような考えのもと、九電グループでは、ダイバーシティ・エクイティ&インクルージョン（DE&I）を重視した職場風土づくりを行っています。

DE&Iとは、それぞれの人材の能力や特性を活かせる環境を整え、互いの違いを尊重する風土を醸成することで、すべての人材が生き生きと活躍できる組織を目指すという考え方です。弊社ではその一環として、2023年10月に「QX[®]プロジェクト」を立ち上げました。QXは、従業員の「こうしたい」という思いを起点に、各人が熱意を持って自律的に行動し、共創しながら、それを組織の力とする取組みです。我々、熊本支店においても、従業員の思いや能力を最大限に引き出すための環境づくりに力を注いでいます。

熊本支店における取組みを挙げますと、仕事と生活を両立しやすい職場環境を作ることを目的に、昨年、熊本県の制度を活用して「よかボス」企業へ登録し、管理職を対象とした研修や「よかボス」宣言を行いました。この宣言の中で私も、「女性・男性の育児休業取得」、「テレワークやフレックスを活用した柔軟な働き方」「積極的な休暇取得」の推進を約束し、そして、率先垂範して「仕事と生活の充実を図ること」を掲げました。従業員の思いを実現するためには、支店一体となって取り組むことや、上司や同僚が支援することを支店長である私がコミットし、メッセージとして発信し続けることが重要だと考えています。

制度の面でも、孫の育児に参加するための「孫育」休暇や、職場全体で育児を支え合う風土を醸成するため、育児休職者が所属する職場の従業員への「育児サポート応援金」の支給など、DE&Iの実現を目指して数々の取組みが形になっており、従業員が活用しています。

以降は会員専用ページにて公開しております。

ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページよりアクセスをお願いします。

[ご入会はこちらから](#)

(入力は数分で終わります)

[会員の方ははこちらから](#)